



<b>注意</b>		この表示を無視して誤った取り扱いをすると 損害を及ぼす可能性または物的損害が発生する可能性があります。	
⊘ 点灯禁止	点灯中や消灯直後は器具が高温のため触らないでください。→やけどの原因になります。	<b>!</b> 警告	表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で使用しないでください。→火災・感電の原因になります。
⊘ 点灯禁止	この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外では使用できません。→火災・感電の原因になります。		照明器具の耐用年数は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8~10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。→応用すると、火災・感電・故障の原因になります。
⊘ 禁止	ライトコントローラなどの調光器との併用はできません。→火災の原因になります。蛍光灯の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。 周囲温度5~35℃、湿度45~85%の環境以外では使用しないでください。→火災・感電の原因になります。 器具の下にストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。→火災の原因になります。 使用条件と異なる環境で使用すると、合成樹脂材料の変色が促進される場合があります。		照明器具の耐用年数を越えた長期使用や異物混入のまま使用しないでください。照明器具の耐用年数を越えた長期使用により、合成樹脂材料の変色・黒化に至る場合があります。黒化は、経年劣化(周囲温度、湿度、紫外線、ほこりや虫などの付着部への光の集中等)による変色・黒化です。燃焼現象ではありません。

**■定格**

型番	定格電圧	入力電流	消費電力	使用ランプ
AH55715・AH55719・AH55723	AC100V	0.42A	41.6W	LED
AH55716・AH55720・AH55724		0.39A	38.8W	
AH55717・AH55721・AH55725		0.39A	32.2W	
AH55718・AH55722・AH55726		0.30A	28.4W	

※リモコン送信機で点灯した場合、約1Wの電力を消費します。  
※長時間使用しない場合、壁スイッチをOFFにしてください。

**■取付前の確認** △警告 配線器具の取付・交換は工事店・電器店へ依頼してください。火災・感電の原因になります。

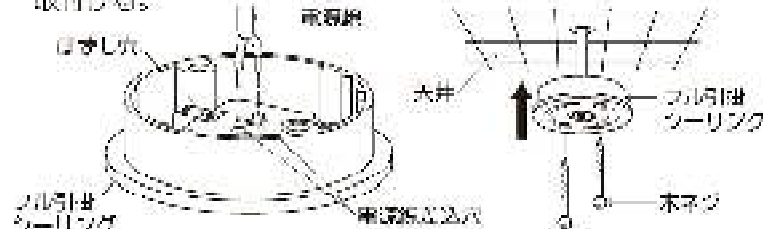
**1 天井に右図の配線器具がついている場合**

右図の通り、1つだけ付いている配線器具が確実に固定されているかを確認する。

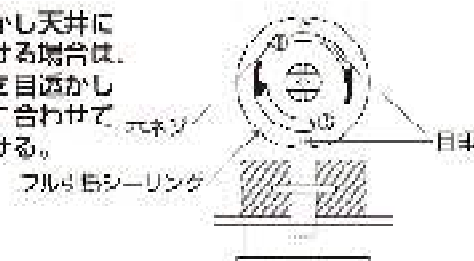


**2 配線器具がついていない場合**

付属のフル4脚シーリングを木ネジで天井に確実に取付ける。



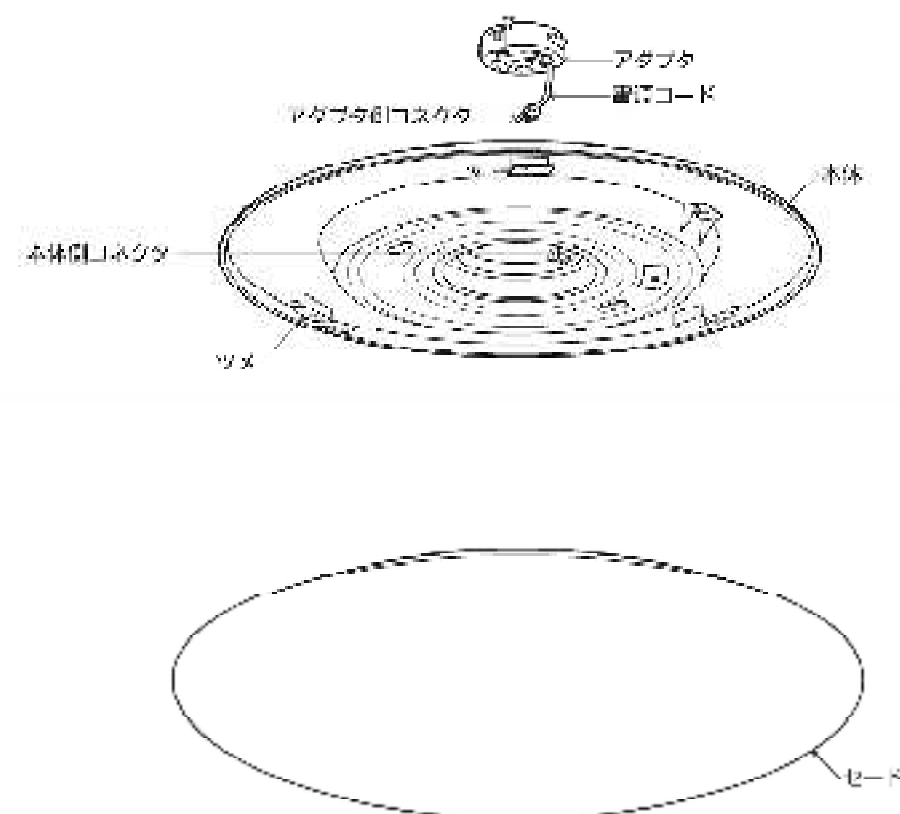
※目隠し天井に取付ける場合は、目印を目隠し方向に合わせて取付ける。



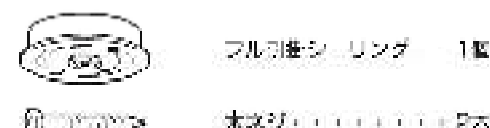
※天井の材質や構造によって、天井面が変色する場合があります。

**■取付手順** △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は、印刷色化した共通図です。  
※部品の名称・仕様を鑑別し、不備の際は取付けないでください。



**〈付属部品〉**



## 1 アダプタを配線器具に取付ける

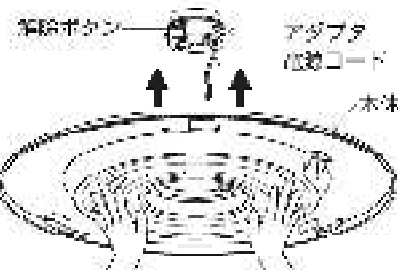
アダプタの引掛(2本)を、配線器具にはめ込み、「カチッ」と音がするまで右に回す。

△警告 解除ボタンを押さずに左に回し、はずれないことを確認してください。アダプタの取付けが不完全な場合、落下によるけがの原因になります。



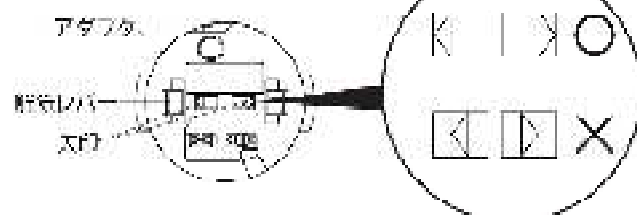
## 2 本体を取付ける

①本体の穴に電源コードを通す。  
②本体を押し上げる。  
※本体の中央付近を押して、確実に取付けてください。



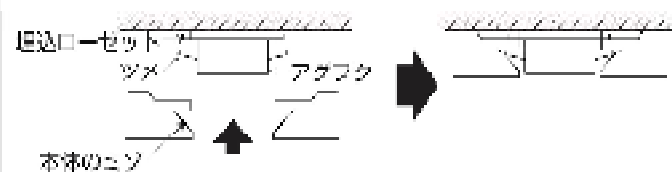
※本体の取付けは「埋込ローゼットの場合」  
「その他の配線器具の場合」をご覧ください。

△警告 解除レバーの矢印の先端が、アダプタの矢印の先端にくるまで本体を押し上げてください。取付けが不完全な場合、落下によるけがの原因になります。



### ＜埋込ローゼットの場合＞

アダプタのツメに本体のモンがはまるように1段押し上げる。



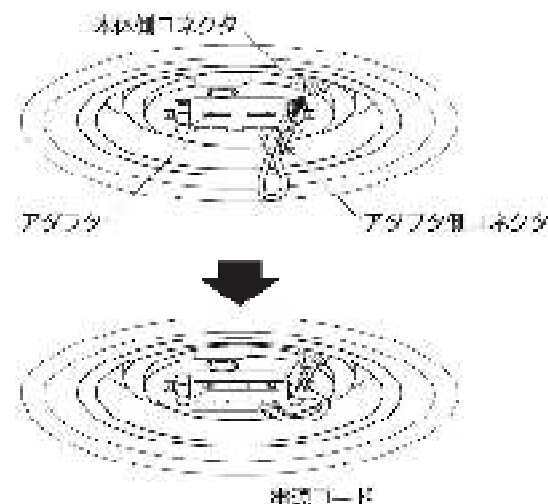
### ＜その他の配線器具の場合＞

アダプタのツメに本体がはまるように2段階押し上げる。  
本体がガタつく場合は再度強く押し上げる。



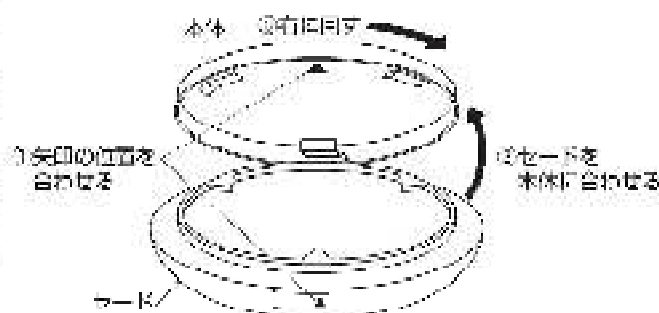
※別売の半線天井取付アダプタをご使用の場合、1段目で固定されます。

## 3 コネクタを接続する



## 4 セードを取付ける

セード外側と本体の矢印が合う位置でセードを持ち上げ、「カチッ」と音がするまで右に回す。

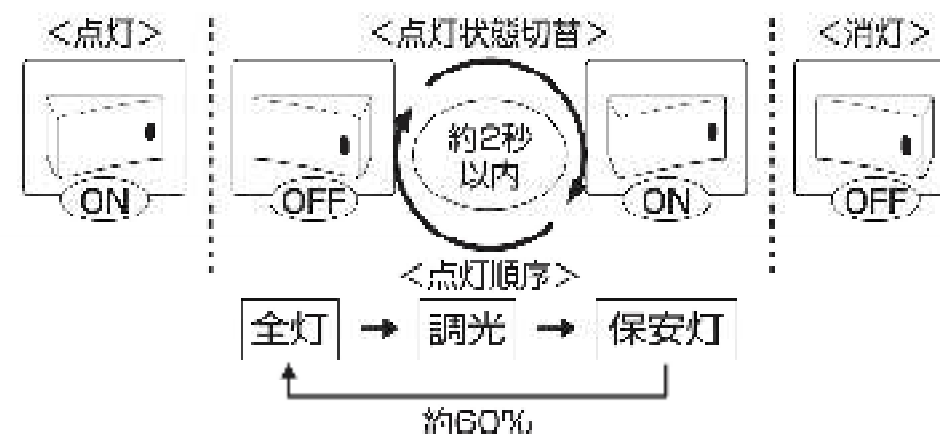


△警告 セードが確実に取付いたことを確認してください。取付けが不完全な場合、落下によるけがの原因になります。

## 5 点灯の確認を行なう

### ■壁スイッチで操作する（プルレス操作）

- 壁スイッチをONにすると点灯します。  
壁スイッチをOFFにし、約2秒以内にONにすると点灯状態の切り替え（プルレス操作）ができます。  
※壁スイッチをOFFにし、約3秒以上過ぎるとONにする前の状態で点灯します。
- 1つの壁スイッチで2台以上の器具をプルレス操作することは避けください。
- LED調光は約50%、2灯は約60%で点灯します。



### ■付加機能について（別売リモコンAE64436Eが必要です）

- 調光範囲(100%～約1%)でお好みの明るさに調節することができます。
- 保安灯の明るさ調節(1段階)をすることができます。
- タイマー機能(1段階)を使用することができます。

## ■取外手順

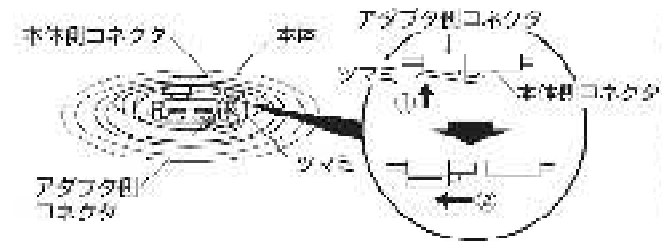
### 1 壁スイッチで電源を切る

### 2 セードを取外す

セードを「カチッ」と音がするまで左に回して取外す。

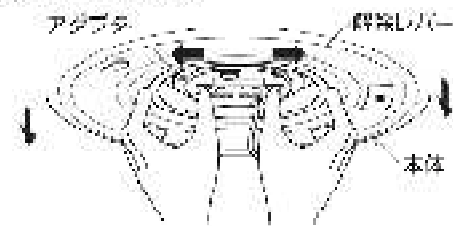
### 3 コネクタを取外す

アダプタ側コネクタのツマミを本体側から引き返す。



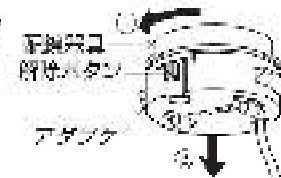
### 4 本体を取外す

本体を支えながら、アダプタの解除レバーを外側に引け、本体を取外す。



### 5 アダプタを取外す

アダプタの解除ボタンを押しながら、左に回し、アダプタを取外す。

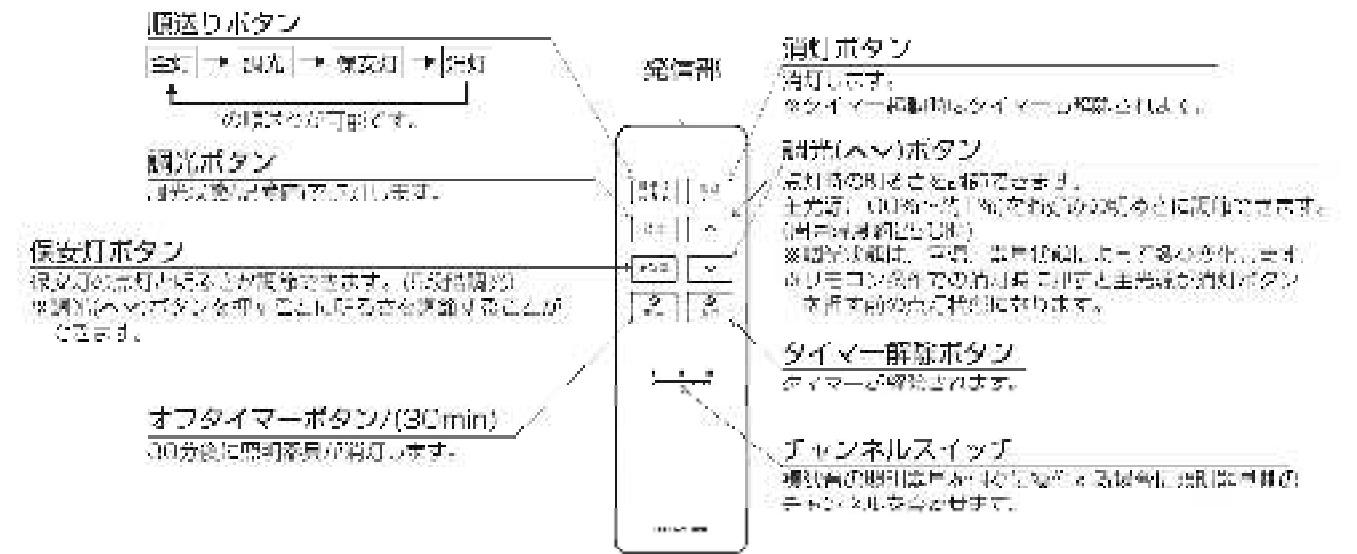


## ■別売リモコン(AF54436F)で操作する

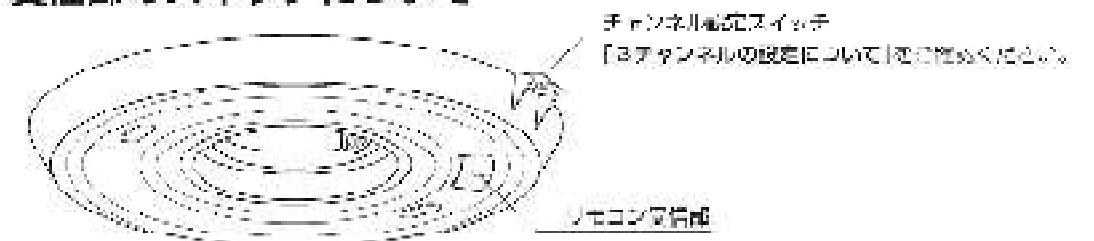
※壁スイッチがある場合、壁スイッチをONにし、リモコン送信機を操作してください。

### 1 リモコン送信機の操作について

リモコン送信機は必ず天井に向けて操作してください。  
また、同一チャンネルを操作すると、両装置が互送し合います。



### 2 リモコン受信部のスイッチについて



### 3 チャンネルの設定について

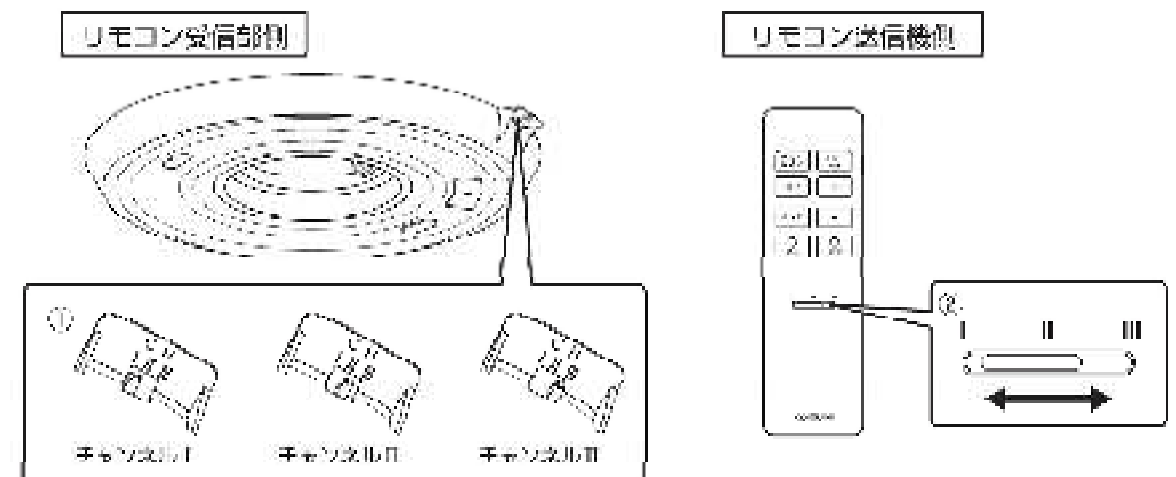
<1台の器具のみ操作する場合>

リモコン送信機のチャンネルを1にしてください。

<複数台の器具を操作する場合>

それぞれ複数台の器具をリモコンで操作する場合には、器具のリモコン受信部側のチャンネルをそれぞれ1、2、3に設定してください。

リモコン送信機側のチャンネルを操作したい照明器具のチャンネルに合わせてください。

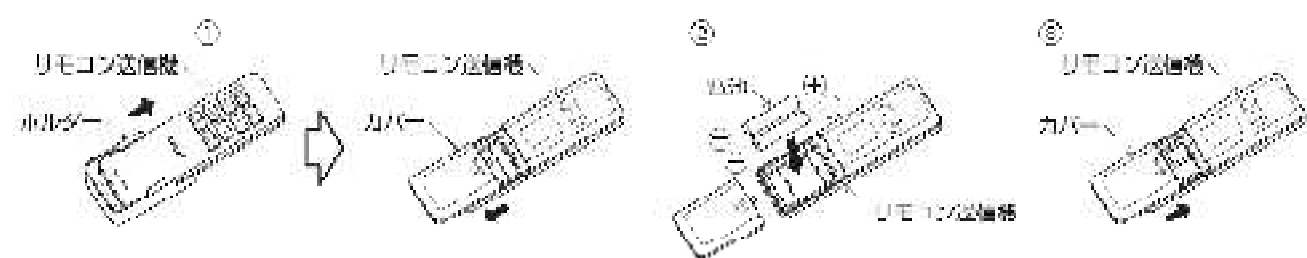


■別売リモコン送信機(AHh443HF)について

1 リモコン送信機に電池を入れる

- ①リモコン送信機をホルダーから取り出し、カバーを外す。
- ②向きと極性を表示に合わせて入れる。
- ③カバーを閉じける。

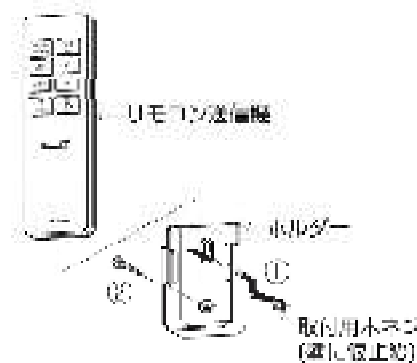
お買い上げ時にセットされている電池はモーター用電池ですので、早く切れることがあります。あらかじめご了承ください。



2 リモコン送信機を壁などに取付ける場合

- ①必ず付属の取付用ネジ1本を壁に仮止めしてから、ホルダーを引っ掛ける。
- ②2本目の取付用ネジを取付けてから仮止めの取付用ネジをねじ込み、圧入する。

仮止めの際、強く締め込まないようご注意ください。ホルダーが破損するおそれがあります。



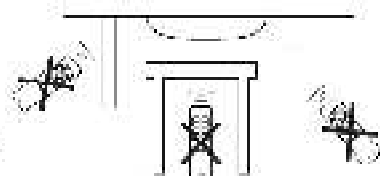
3 リモコン送信機を操作する

ホルダーから取り出し、器具に向けて行なってください。作動すると確認音が本体よりします。



4 使用上のご注意

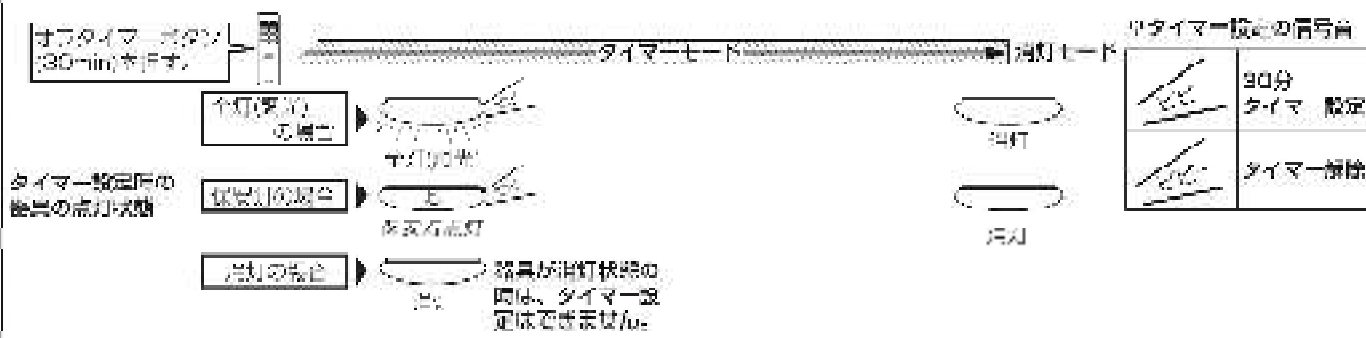
- このリモコン送信機は、コイズ照明器具専用です。リモコンモデルが別には使用できません。他社の照明器具が動作する場合がありますが、故障ではありません。その際は、器具とリモコン送信機のアンテナを切り替えてください。
- 電池の寿命は、1日10回の常温使用で約半年です。電池は半年を目安に、必ず2本同時に交換してください。※充電式Ni-Cdの電池は使用できません。
- 器具によっては、反応が遅い場合がありますが故障ではありません。
- ボタンを早く押すと反応しないことがありますので、ゆっくり操作してください。
- 長時間使用しない場合は、壁スイッチをOFFにしてください。リモコン送信機で待機した場合は、特に赤外線待機電力がかかり、電力を消費します。
- 壁スイッチで電源を切った場合は、リモコン送信機を操作しても器具は動作しません。壁スイッチで電源を入れてから操作してください。
- リモコン送信機は、落としたり、水をかけたり、ふみつけたりしないでください。故障の原因になります。
- 温度の高くなるものの近くでは使用しないでください。過熱・故障の原因になります。
- リモコン送信機の発信部が汚れますと作動しにくくなります。埃にさらかひやなどで汚れを拭き取ってください。
- リモコン送信機の両面にしゃべり物がある場合、作動しない場所があります。しゃべり物をさけて対応ボタンを押してください。
- 器具をご使用になる部屋の天井・壁・床などの色が黒っぽいと、リモコン送信機が作動しにくい場合があります。



■タイマーの設定について (別売リモコンAHh443HFが必要です)

30分後に消灯します。

※オフタイマーボタン(30min)を押すと本体より確認音が「ビビ」と鳴り、タイマーが作動します。



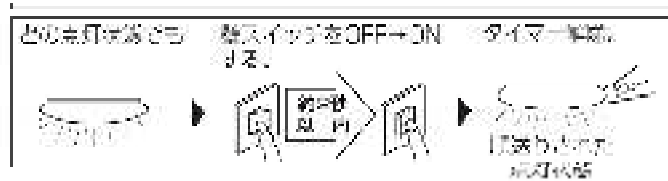
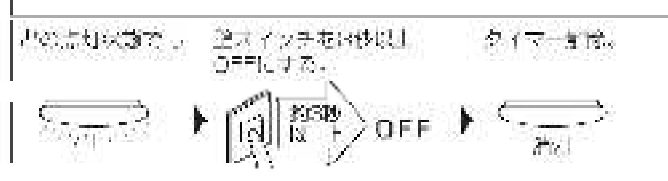
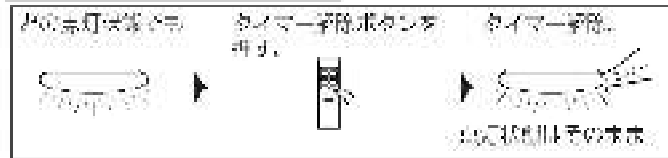
タイマーを作動させるには



タイマー時間の更新



タイマーを解除させるには



## ■使用上の注意

- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。  
器具と音響製品を離してご使用ください。
- 点灯および消灯後に器具構成材料の熱伸縮により若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。
- 壁スイッチがONの状態でも一定時間の停電が発生した際には、停電前の点灯状態で復帰します。
- 停電などでブルレス操作がはたらき、明るさが切り替わる場合があります。その場合は、壁スイッチなどでお好みの点灯状態に設定しなおしてください。
- 電源OFF時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合、壁スイッチの使用は4個までとしてください。  
壁スイッチを5個以上使用される場合は、表示が点灯するタイプ以外のスイッチを使用してください。
- 電源ON時に表示灯が点灯するタイプのスイッチを使用される場合は、表示灯がわずかにちらついたりしますが、異常ではありません。

## ■LCDユニットについて

- 光束維持時間は40,000時間です。  
光束が70%以下になるか、不点灯になるまでの時間で、照明器具の保証寿命とは異なります。
- LEDのみの交換はできません。
- LEDは輝度が高いため、直射しないでください。
- LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- 電源ON時にスイッチが点灯する表示付スイッチに使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。

## ■器具のお手入れ ※注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。落電の原因になります。

- 明るく安全にご使用いただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。  
ダイニング・キッチンなどの汚れやすい場所は年4回程度の清掃が目安です。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布が濡れた中性洗剤を薄めた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。  
シンナーやベンジンなどの揮発性のものではないよう、研磨剤を避けたりしないでください。また、消磁と中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。故障・故障の原因になります。